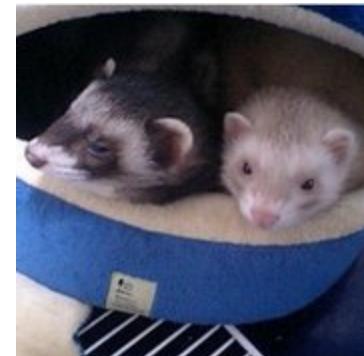


Pythonエンジニアアフア ーストブックの紹介

2017 Nov 24 / BPStudy #123
Takanori Suzuki

Who am I?(お前誰よ)

- 鈴木たかのり / Takanori Suzuki
- Twitter: [@takanory](https://twitter.com/takanory)
- Python mini Hack-a-thon(#pyhack)主催
- Pythonボルダリング部(#kabepy)部長



株式会社ビープラウド所属

- <https://www.beproud.jp/>



PyQ

- Pythonに特化したオンライン学習サービス
- <https://pyq.jp/>

The screenshot shows the homepage of the PyQ website. At the top, there is a navigation bar with the PyQ logo, links for '特徴・機能', '料金・プラン', '学習コンテンツ一覧', and '企業・学校のお客様へ', and buttons for 'ログイン' and '学習を始める'. The main heading is '本気でプログラミングを学びたいあなたへ' with a 'Python' subtitle. Below this is a large image of a person's hands working on a laptop displaying a Python code editor. To the right of the image, there is a bulleted list of features:

- ✓ 人気の言語Pythonで、初心者から実務レベルまで
- ✓ ブラウザだけですぐに始められる
- ✓ Web開発、データ分析、機械学習を深く学べる

A note below states 'ライトプラン2,980円/月・スタンダードプラン7,980円/月' and a reminder '※キーボードが必要です。また、スマートフォンには対応していません'.

Lightning fast learning. Start with Python today!

Lite plan 2,980 yen/month • Standard plan 7,980 yen/month

* A keyboard is required. Smartphones are not supported.

Customer satisfaction rate
94%

Recommended教材
一般社団法人Pythonエンジニア育成推進協会 推薦

connpass開発・運営
connpassを開発・運営しているBeProudのノウハウ

connpass

- IT勉強会支援プラットフォーム
- <https://connpass.com/>

The screenshot shows the homepage of connpass, a platform for connecting engineers and supporting study groups. The top navigation bar includes the connpass logo, a search bar, category links, and a login/register button. The main heading is "エンジニアをつなぐ IT勉強会支援プラットフォーム". Below it, there are several sections: "見逃さない、集まりやすい" (Don't miss out, easy to gather), "イベントを育てよう" (Grow events), "IT勉強会にピッタリ" (Perfect for IT study groups), "事前決済の手数料は業界最安値" (Pre-payment handling fees are the lowest in the industry), "参加者のためのiPhoneアプリ" (iPhone app for participants), and "多彩なイベント告知" (Various event notifications). At the bottom, there are calls to action: "connpassをもっと詳しく" and "イベントを作成する".

おすすめグループ



新着イベント

Facebookで最新情報を配信中！

いいね！することで、最新情報を受け取れます



「いいね！」した友達はまだいません

一般社団法人PyCon JP理事

- <https://www.pycon.jp/>



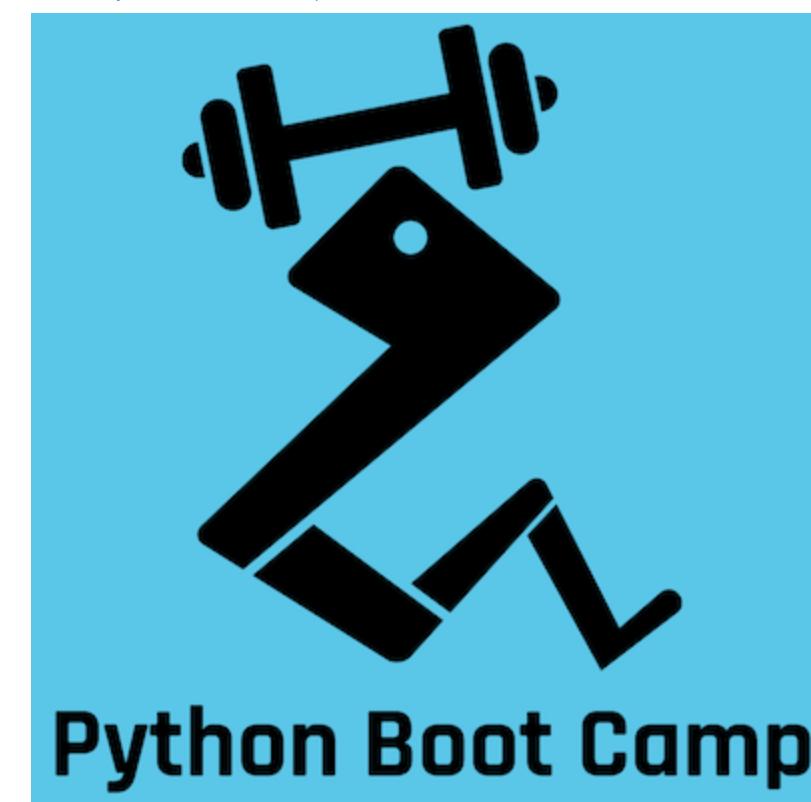
PyCon JP 2017

- 国内最大のPythonイベント
- <https://pycon.jp/2017/ja/>



Python Boot Camp

- 初心者向けPythonチュートリアル
- <https://www.pycon.jp/support/bootcamp.html>



はなすこと

- ファーストブックの紹介
 - 著者の紹介
 - 中身の紹介
- 執筆スケジュール
- ストーリー作り

Pythonエンジニア ファーストブック



- <http://gihyo.jp/book/2017/978-4-7741-9222-2>

Pythonエンジニア ファーストブック

- 発売: 2017年9月9日
- A5判／328ページ
- 定価: 本体2,400円+税
- ISBN: 978-4-7741-9222-2

目次

- 第1章 Pythonの動向
- 第2章 最低限知っておきたいPython言語の基本
- 第3章 開発環境とチーム開発
- 第4章 スクレイピング
- 第5章 PyData入門ガイド
- 第6章 Webアプリケーション開発

著者紹介

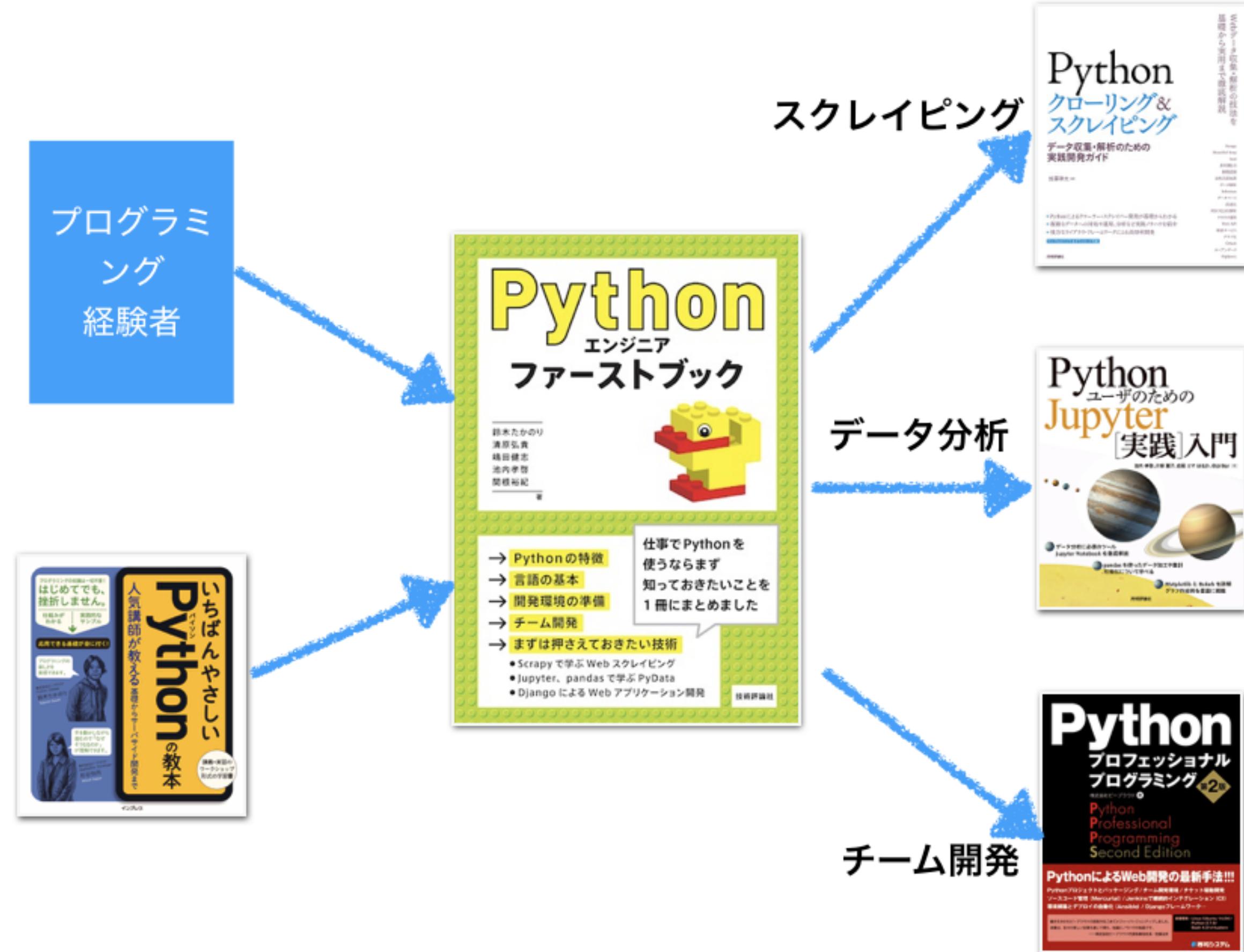
著者紹介

- 鈴木 たかのり: 第1章、コラム、第4章
- 清原 弘貴([@hirokiky](#)): 第2章
- 嶋田 健志([@TakesxiSximada](#)): 第3章
- 池内 孝啓([@iktakahiro](#)): 第5章
- 関根 裕紀([@checkpoint](#)): 第6章

中身の紹介

ターゲット

- これからPythonを仕事で使うエンジニア
 - 最初に知ってもらいたい内容を凝縮
 - 他のプログラミング言語知っている
- 仕事で役立つポイントをつまみ食いしたい



想定される質問

- 「Pythonエンジニア養成読本」持ってるし、いらないよね?

そんなことはありません!!!

Pythonエンジニア養成読本

- 発売: 2015年4月19日
- B5判／128ページ
- 定価: 本体1,980円+税
- ISBN: 978-4-7741-7320-7
- <http://gihyo.jp/book/2015/978-4-7741-7320-7>



改訂ポイント

- Python 2.7 → 3.6
- 第4章「スクレイピング」書き下ろし
- 第5章「PyData入門ガイド」大幅に構成変更
 - ほぼ書き下ろし
- 第6章「Webアプリケーション開発」でBottle→Django
 - ほぼ書き下ろし

改訂ポイント

- 各種ライブラリ、ツールを最新に
- virtualenv→venv
- Ansibleの章を削除

改訂ボリューム

- 4章 50ページ
- 5章 54ページ
- 6章 82ページ
- 半分以上が書き下ろし

買うしか!!!!

執筆スケジュール

執筆スケジュール

- 2016年12月: 編集に改訂を打診
 - 前向き検討となる
- 2017年1月: Slack上で相談
 - 執筆がGo!
- 2017年2月: 執筆開始
 - 改訂のストーリー作り
- 2017年3月: キックオフ飲み

執筆スケジュール

- 2017年6月: Web以外脱稿
- 2017年7月: Web脱稿
 - PDFレビュー開始
- 2017年8月21日: 5校
- 2017年9月9日: 発売開始
 - PyCon JPで先行販売イベント



Takanori Suzuki

@takanory

モノタロウ侍も推薦！！「Pythonエンジニア
ファーストブック」と「Jupyter実践入門」
#pyconjp #pyfirst (@ 早稲田大学 63号館 in 新
宿区, 東京都) swarmapp.com
/c/aZYq44QxbTY





モノタロウ侍

@monotarosamurai

フォロー中



まだ読んでませんがめちゃくちゃおすすめだ
モノ！ c(・∀・)c



Takanori Suzuki @takanory

モノタロウ侍も推薦！！ 「Pythonエンジニア ファーストブック」
と「Jupyter実践入門」 #pyconjp #pyfirst (@ 早稲田大学 63号館 in
新宿区, 東京都) swarmapp.com/c/aZYq44QxbTY

12:52 - 2017年9月11日

ストーリー作り

キックオフMTG

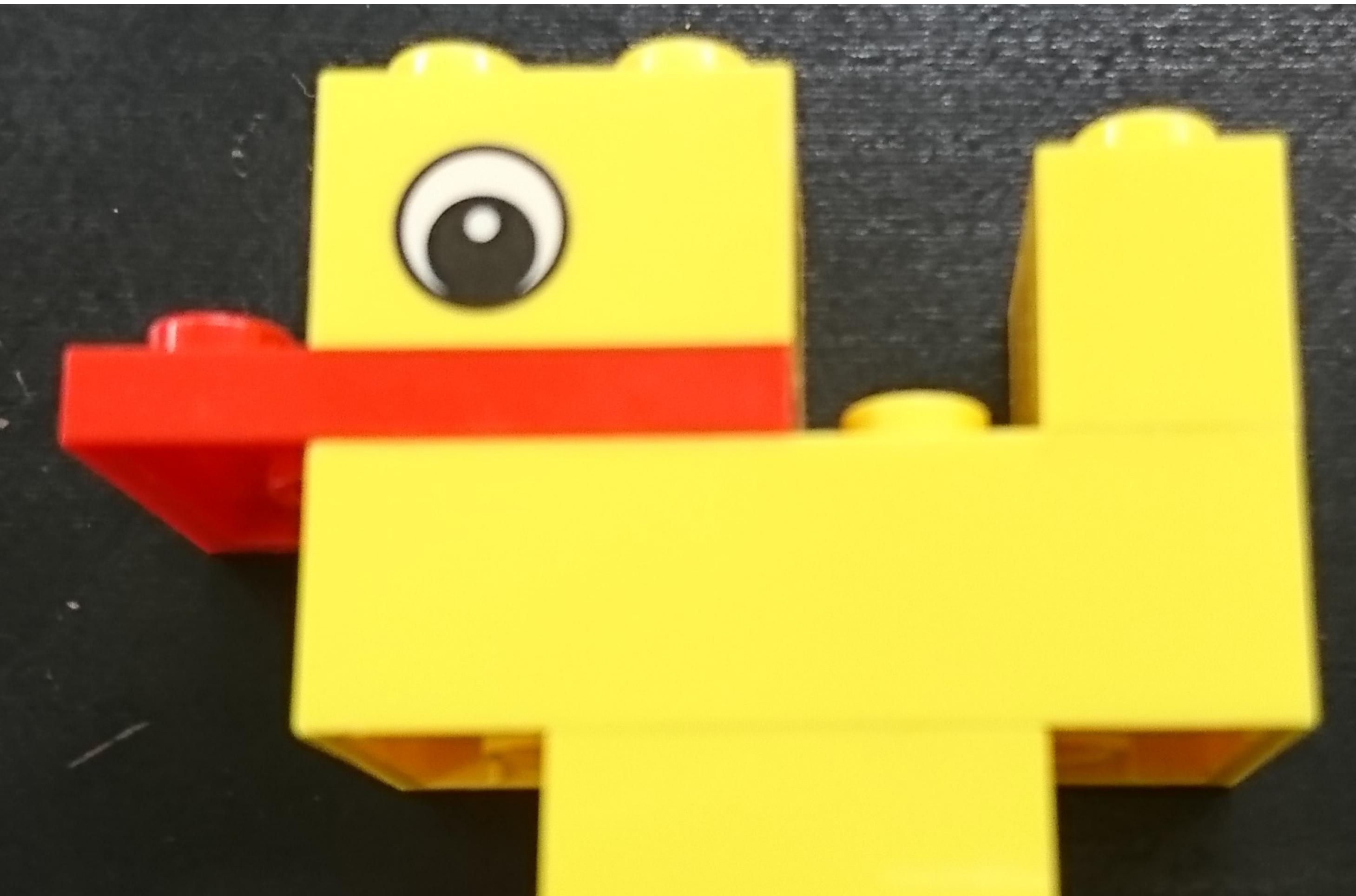
- 2016年12月19日
- ただのバージョンアップじゃなくて新規記事もほしい(編集)
- BottleからDjangoにしてもいいかも(checkpoint)
- PyDataはいろんな本が出たので構成考えたい(iktakahiro)
- 新規記事案
 - Slackのbot
 - スクレイピング
 - クラウド関係

改訂箇所のミーティング

- 2017年2月3日
- Django、PyData改訂、Scrapyで行こう
- 打ち合わせでストーリー作成
- Scrapyでスクレイピングしたデータを使う
 - PyDataでデータ解析
 - DjangoでWebの元データ
- データを公開するので途中からでもOK

なんのデータを使おう...

そうだLEGOだ!!!



LEGOなら

- いろんな属性値がある
 - テーマ、発売年、ピース数、価格
- takanoryの豊富なドメイン知識
- 似たようなことやってる人がいる
 - [Crawling and Scraping Web Pages with Scrapy and Python 3](#)

ここまでの中のまとめ

ここまでまとめ

- 単なる改訂版じゃないよ
- 前よりもストーリー性あるよ
- 買ってね

では hirokiky にバントタッチ

- <http://slides.hirokiky.org/bpstudy123.html#1>